

平成30年 第1回定例会

(3月12日)

一般質問資料

(2回目)

自由民主党千葉進取の会
向 後 保 雄

1 障害者福祉について

ご答弁ありがとうございます。

昨年の第4回定例会で減額が決まった心身障害者福祉手当の見直しの背景については、障害者人口の増加とニーズの多様化による障害福祉関連事業費の増大が要因であると理解を致しました。しかし、減額で確保された財源の25%が発達障害のある方やその家族への支援の充実と支援センターの相談員の増員、強度行動障害者の受入れ体制の強化等、必要な施策に充てられるとのことで理解を致しました。そして、残りの75%についてもいずれ必要な障害福祉関連施策の充実に充てていくとのことですから、確実に実施していただくことを要望いたします。

また、障害者ニーズの把握については、障害福祉サービス事業者や障害者団体の代表者等をメンバーに加えて協議をしているとのことですので、今後も多様化する障害者ニーズの把握に、引き続き積極的に努めていただくよう要望いたします。

障害者相談支援体制については、ご答弁の中で、サービス等利用計画案の作成をする「特定相談支援事業所」と、よろず相談を受ける「障害者相談支援事業所」との役割分担が曖昧となってきたと話されておりましたが、障害者の方々の多様なニーズに的確に対応できる体制の整備をしてゆく上に於いて、障害福祉制

度は、利用者がサービスを選択・決定する契約制度が導入されており、利用者は、質の高いサービスを求めています。高齢者福祉においては、あんしんケアセンターがあり、ワンストップで様々なニーズに対応してくれています。あんしんケアセンターは、公募であり、競争性が働いているため自助努力で常にサービスの向上充実が求められ、サービスの質を確保しています。

当局に於いては、相談支援体制の課題を認識して、再整備を図るとのことであり、期待するところではありますが、単なる相談支援体制の見直しではなく、公募制度を導入することなどを含めた見直しに取り組むことで、より一層のサービスの質の向上に努めていただくよう要望いたします。その際、現在の委託料が安いとの意見もいただいておりますので、他の政令市との比較は、取扱う相談内容や事業規模等に違いがあり一律に比較するのは難しいとのご答弁でしたが、今後相談内容や委託事業のサービスメニューの積算をする際には現場の状況をしっかりと把握し、実態に即した単価設定等に努めていただき、できれば、できるだけ早くモデル的にいずれかの場所で公募を実施することも加えて要望いたします。

2 危機管理対策について

次に、危機管理対策についてのご答弁ありがとうございます。

北への経済制裁が功を奏したのか、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長と韓国の特使段との南北会談が和やかな雰囲気の中で、去る5日に実現し、5月には金正恩朝鮮労働党委員長とアメリカのトランプ大統領との初めての米朝首脳会談が実現する模様で、北朝鮮の非核化に向けて踏み出したかのようにも見えますが、拉致問題も未解決ですし、まだまだ不透明であります。したがって、大陸間弾道ミサイルや核ミサイルの発射の危険性がなくなったわけではありません。国が各自治体に核ミサイルに対応した避難計画の策定の指示が出たら、それに従って地下施設を持つ民間企業等との災害協定を策定するというのが順番であると考えますが、もし、隣国である日本、それも首都東京に近い千葉市に核爆弾が落とされた時には、地下に逃げるしかないわけですから、民間事業者や地下設備のあるビルとの災害協定を締結できる準備を今からしておかなければならないと考えます。

また、Jアラートが鳴った時の対応や万一核ミサイル等が発射された時の対応について、国民保護ポータルサイトに記載されていてもなかなか一般市民は見ませんので、「転ばぬ先の杖」という意味で、市政だより

において事あるごとに市民に分かりやすく、広報をしていただくことを要望いたします。

以上で私の一般質問を終わります、ご清聴ありがとうございました。

竹川 保健福祉局長
大木
総務局長

宍倉 総合政策局長
黒川 環境局長
永名 建設局長
中村 病院局次長
片桐 会計管理者